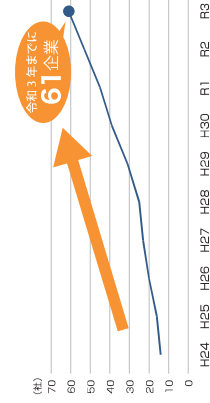


新潟を選ばずIT企業が増えています

右記グラフにある通り、平成24年から令和3年にかけて、新潟県外から新潟市への移転もしくは拠点の設置をされた企業数は右肩上がりが増えていきます。
中でも首都圏をはじめとするIT関連企業の引き合いが多く、年間平均7～8件の企業から進出いただいています。また特に「にいがた2km」と呼ばれる、新潟駅から古町エリアをつなぐ、メインストリート周辺約2kmのエリアへの進出が進んでおり、企業の垣根を超えた様々な取り組みが生まれています。

新潟市へ進出したIT企業数

多くの企業に新潟を選んでもらっており、右肩上がりに増え続けています。



新潟市へ進出されたIT企業の所在地

新潟市中心市街エリア(にいがた2kmエリア)に集中しています。



進出企業様の声

株式会社イードア
新潟支社長

石川 翔太さん

株式会社イードア
新潟支社

2020年11月開設。インベションをキーワードにしたコンサルティング事業を展開。新潟県とのアントレプレナーシップ共同研究、新潟の中小企業への新規事業・インベション、創出コンサルティング、スタートアップ支援。本社東京、創業11年。

会社情報



決め手は信頼できる「頼れる人」

東京からの移転を鑑みて、新潟以外に仙台・名古屋も検討しましたが、新潟県や新潟市の方と話す中で「この人たちのところで事業ができればいいな」と素直に思えた安心感・信頼感が決め手となりました。県す知らずの土地でビジネスを始めるわけですから「頼れる人」の存在は大きいです。「東京のため」と言っていて働いている人は東京にいませんが、「新潟のため」と本気で働いている人が新潟にはたくさんいます。こういう大きい目標に向かって動くことができると本当に大切なことだと思っています。これは新潟の皆さんが全国に誇れることだと思っています。

人材の掘り起こしがいいのある地

新潟に来てからすでに4人採用しましたが、みんな優秀です。たぶん県民性もあるのかもしれないませんが、基本素直で、こちらが望む「自分で課題を見つけて自分で解決・改善していく働き方」を促えたとすぐに実践ができる。人材の面と言うと、



INsight LAB株式会社

代表取締役CEO

遠山 功さん

INsight LAB株式会社
新潟研究開発センター

2020年4月開設。県内のピカデリー分団に隣接する新潟大学との共同研究及び、地方自治体を対象としたデータ活用コンサルで、新潟県内のDX化を支援。本社東京、創業16年。

会社情報



掘り起こしがいいのある地だと思います。

「総アントレプレナーシップ」を新潟に

現在開業率の低い新潟県ですが、私はこれを「ただ未開拓なだけ」と捉えています。現に起業支援のコンサルを事業としている企業は、まだ新潟にわずかしかありません。我々には東京で様々なスタートアップ企業の経営支援をしてきたノウハウがあるので、これらを活かして、若い人だけでなく老若男女を対象とした「総アントレプレナーシップ」を新潟に根付かせていきたいと考えています。

決め手は新潟のアツイ人たち

私の父が村上の出身で、毎年夏休みは村上で過ごしていました。自分が大人になるにつれ、だんだんと気力がなくなっていくこの大好きな地をどうにかしたいと思つたことがきっかけとなり、「新潟県全体で社会課題を解決していかなければ」と、新潟への進出を決めました。拠点を構える場所は新潟県内と、新潟への進出したのですが、最後は情熱的な会話ができる役所のアツイ人たちの存在が決め手となり、新潟市に決めました。新潟の人って意外とアツイものを持っていて人が多いですよ。あんな表には出さないですけど(笑)。

イノベーションが生まれやすい環境

正直、新潟県内に社会課題は散在しています。あちこちにありますが、だからワクワクするんです。課題解決のお手伝いが仕事である我々にとって、こんなに魅力的な場はないです。イノベーションは劣悪な環境をなんとかしようとして生まれるもので、歴史的に見ててもテクノロジーが進化するのとは国難に立

ち向かう時です。そういう意味でも、ここ新潟には、今後成長するポテンシャルがあると感じています。

「データ文化」を新潟に

「何事においても、データを活用していく文化」これが「データ文化」です。これを新潟に根付かせていきたいと考えています。新潟大学との共同研究「越後データプラットフォーム」もその取り組みの一つで、県内のデータを収集・活用し、最終的には市民生活向上のためのツール開発につなげます。

「信濃川沿いと海沿いの道」

ランニングは信濃川沿いを、ロードバイクは海沿いを走ります。どちらも水辺を好きなから走れるのが最高ですね！



「しろね大風と歴史の館」

上映されている動画に感動し、危うく泣きそうになりました(笑)。新潟県民のアツキを感じられる場所です。

